## ■□■シンポジウム■□■

## 新潟水俣病、福島原発事故からの教訓 〜持続可能な地域づくりを共に考える〜

水俣病と福島原発事故はいくつかの点で共通するものがあります。

「人災」によって引き起こされたこと。

情報の隠ぺいにより、被害が広がり拡大したこと、

地域や家族で分断が起きていることなどです。

新潟水俣病の経験・教訓、放射能汚染に苦しむ福島の農の力による復興・地域再生に向けた取組から、 持続可能な地域づくりとは何か、またそれを進めるために何をしたらよいかを、

農家、生産者、消費者、企業、NPOとともに考えます。

日時: 2012年11月17日(土) 13:30~16:45

場所:新潟県立生涯学習推進センター

(新潟県新潟市中央区女池南3丁目1-2 TEL:025-284-6110)

新潟駅南口、ビックカメラ前3番乗り場から「女池愛宕行」

または「江南高校前経由新潟市民病院行」に乗車

『野球場・科学館前』で下車 徒歩約8分

参加費:無料



## プログラム

- ■主催者挨拶: **鶴巻義夫** にいがた有機農業推進ネットワーク 共同代表
- ■基調講演:野中昌法 新潟大学 環境安全推進室長 農学博士·教授

『福島原発事故、新潟水俣病から学ぶこと

- ~自然・人間・地域と共生した持続可能な農業と 地域社会の再生に向けて』
- ■報告:**菅野正寿** 特定非営利活動法人福島県有機農業ネットワーク 理事長

『有機農業が拓く、ふくしま再生への道を』

- •••休憩•••
- ■パネルディスカッション

パネラー: 金子洋二 特定非営利活動法人新潟 NPO 協会 代表理事

**酢山省三** 新潟水俣病阿賀野患者会 事務局長

**谷津由香里** 新潟大学学生ボランティア本部「ボラんち」

**菅野正寿** 特定非営利活動法人福島県有機農業ネットワーク 理事長

コーディネーター:野中昌法 新潟大学 教授

■質疑応答、フロアとの討論

主催:にいがた有機農業推進ネットワーク (新潟県新潟市西区流通 1-5-3 新潟県総合生活協同組合生産者協議会内)

TEL·FAX: 025-269-5833 E-mail: seisan.k@gamma.ocn.ne.jp

(特活)福島県有機農業ネットワーク FAX:0243-24-1796 E-mail:yuuki@farm-n.jp

(一財) CSO ネットワーク FAX:03-6233-9560 E-mail:sus-seminar@csonj.org

助成:独立行政法人 環境再生保全機構地球環境基金